

# 平成22年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	企画展事業				開始年度	21年度		
基本目標	美術館の充実				終了年度	21年度		
担当課(局)	社会教育課(美術館)	担当係	総務学芸係	記入者	小森 隼		評価者	中野 恵一
21年度決算	446	千円	22年度予算	142	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	2,914 千円		22年度人件費	2,892 千円		事業従事者数	0.40 人	0.40 人

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域の芸術文化の発信地としての役割を果たす。
事業の内容	町内外を問わず広く県民に対して、「増田常德展、北北西からの発信福岡、長崎、東村アキコマンガ原画展、米良俊男作品展、黒田長舒公と秋月藩の系譜展」を開催。重厚な油彩画、現代造形作家のインスタレーション、人気漫画家の原画、朝倉市秋月藩の歴史的資料、神秘的な油彩画などバラエティに富んだ作品を紹介。

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2 観覧料収入	観覧料収入の増加で、企画展開催に係るコストを相殺する。
活動指標	3 企画展開催数	魅力ある企画展を定期的に開催する。
	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 広報活動回数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 関連イベント開催数	展覧会開催に伴う講演会等の開催
3 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼	

## ◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	観覧者数	目標値	5,000	5,000	5,500	
		実績値	4,045	5,306		
		達成率	80.9%	106.1%		
	観覧料収入	目標値	円	227,400	227,400	227,400
		実績値		442,360	855,788	
		達成率	%	194.5%	376.3%	
企画展開催数	目標値	回	5	5	6	
	実績値		5	5		
	達成率	%	100.0%	100.0%		
活動指標	広報活動回数	目標値	10	10	12	
		実績値	9	9		
		達成率	%	90.0%	90.0%	
	関連イベント開催数	目標値	回	5	5	6
		実績値		3	6	
		達成率	%	60.0%	120.0%	
取材依頼数	目標値	回	5	5	6	
	実績値		5	5		
	達成率	%	100.0%	100.0%		

## ◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	定期的に魅力ある企画展を開催して、集客を図る必要がある。町内にギャラリーが1箇所あるが、貸しギャラリーの形態である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	開催期間にもよるが、1企画展で1000人以上の観覧者を呼び込みたい。テレビCMや新聞広告で周知を行えば観覧者数の大幅な増加を見込めるが、現状は手作りのポスターやチラシのみで、広報不足は否めない。広報車等での街宣で町内の観覧者を喚起したい。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	姉妹都市からの資料借用や作家から無償で作品を借りて展覧会を開催しており、経費は極力抑えられている。会期の調整で、若干の経費削減は可能である。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	ボランティア等を募り、展示室の監視や作品の説明を行ってもらうことは可能である。

事務事業名	企画展事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	-------	--------	------------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>芸術的に質の高い作品展だけではなく、造形作品やマンガ等、アートのもつ様々な側面を広く提供する事ができ、美術館の可能性を切り開いた。 予算をかければTVCM等も可能だが、どれほどの効果があるかは未知数である。広報車による広報や、報道機関への取材・記事掲載の依頼等を通じて情報発信を拡充していきたい。</p>	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
	廃止	縮小	現状維持	拡充	コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎文化の発信基地として、しっかりとした事業を展開し、町民に親しまれる美術館運営を望む。 ◎少ない予算で企画するのは大変だろうが大切な事業である。
	コスト	現状維持	◎特別展と同様で経費に見合う入場者が獲得できれば、コスト拡充は必要である。ただし、特別展と企画展の線引きが曖昧な気もする。